

# JAいけだ CREATION



今月号の表紙写真は、2014年12月16日（火）～19日（金）に行われた、役員研修で株式会社御座候を訪れた際に、山田専務（前列）と小河課長（後列）と一緒に撮影した集合写真です。詳細は2～3ページをご覧ください。

## CONTENTS

- \* 平成26年度 役員視察研修報告
- \* ニュージーランド・オーストラリア視察研修報告
- \* 21NEWS アラカルト
- \* シリーズ 協同組合と報徳 No.5
- \* 平成27年1月から 新たな農協部会長会
- \* 金融共済課より
- \* JAネットワーク 十勝の動き
- \* 畜産部通信
- \* 未来人
- \* 農家のお嫁さん
- \* 今月の1枚
- \* 理事会の動き
- \* 編集後記

2015.

2  
FEBRUARY

No.062

# 平成26年度 役員視察研修報告

理事 多田彰弘

本年度の役員視察研修は12月16日（火）から  
19日（金）迄の日程で関西・広島・関東方面を  
役員14名にて研修してまいりましたのでご報告  
いたします。

12月16日（火）

糖度12度以上、酸度1度以下、官能審査（実食、みかんは糖度と酸度のバランス

が大事）に合格したもののが「有田市認定みかん」となり、オリジナルダンボール箱に入れ、5kg300円を超える値段で販売されています。みかん栽培は、山間部と水田地帯では、肥培管理が違うため統一してお

ります。みかん栽培は、山間部と水田地帯では、肥培管理が違うため統一しておらず、とにかく「おいしいもの」を出荷してもらうということです。制度導入から5年目となり、消費者への認知度も上り認定農家の所得も年々向上しているそ

うです。

次に、有田市役所に向い、担当者様よりこの制度についてご説明をいただきました。近年の生産量、農家戸数の減少から、厳格に審査し認定します。

午前6時30分、JA十勝池田町本所駐車場を出発し、新千歳空港より関西空港へ向い、午後1時頃到着しました。



JAありだ宮原共撰組合 中西組合長より説明を受ける一行

一同バスで和歌山県有田市のJAありだ宮原共撰組合を訪れました。「この組合では有田市が創設した「有田市原産地呼称管理制度」を導入しています。この制度では「大きさ、色、形」等の既存の規格だけではなく、価値を計る基準を「味覚、栽培方法、生産方式」等に求められる」となり、

午前6時30分、JA十勝池田町本所駐車場を出発し、新千歳空港より関西空港へ向い、午後1時頃到着しました。

一同バスで和歌山県有田市のJAありだ宮原共撰組合を訪れました。「この組合では有田市が創設した「有田市原産地呼称管理制度」を導入しています。この制度では「大きさ、色、形」等の既存の規格だけではなく、価値を計る基準を「味



株式会社御座候 (豆保管庫にて)  
左から2人目 小河課長、田中工場長

次に、有田市役所に向い、担当者様よりこの制度についてご説明をいただきました。近年の生産量、農家戸数の減少から、厳格に審査し認定します。

特に「官能審査委員会」は、有田市出身以外の食のプロによる「絶対評価方式」でみかんの見た目だけではなく味覚や生産過程に着目し、本当に高い品質のものに対しても長期的な視野でブランド化につなげていくということです。この審査では、有田市出身以外の食のプロによる「絶対評価方式」でみかんの見た目だけではなく味覚や生産過程に着目し、本当に高い品質のものに対しても長期的な視野でブランド化につなげていく



株式会社御座候 山田社長

64日美味しい餡を作り、  
場はクリーンルーム内で最新技術を駆使した最新鋭工場で、人の技術で生まれる高品質と、機械の力による高能率の相乗効果で年間3

に約106トンで全体の1%に満たず、平成23年度に品目追加して温湿度管理システムとともに制度の周知を行い、申請農家数を増加させ、より一層のブランド確立を進めていきたいとのことでした。

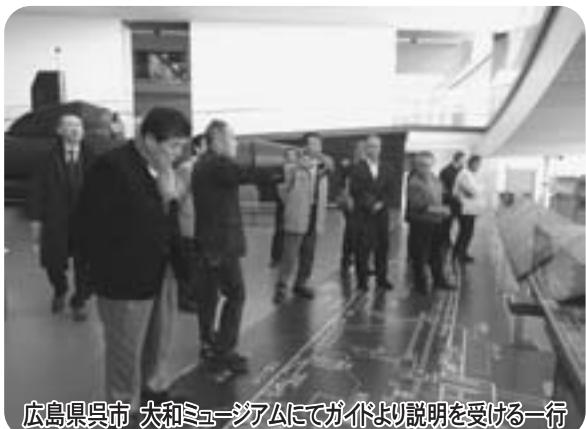
## 12月17日(水)

全国78店舗に配達しているそうです。豆は低温倉庫にフレコンパック(1トン)に入った状態で整然と積み上げられており、1日に7~8袋使用されます。

「」対応いただいた山田社長から、あづきに対する強い思い、そして20年前当時の組合長、農産部長のあづきへのこだわりと、山田社長の餡に対するこだわりから始まった契約栽培。20年経つても思いは変わらないというお話をいたしました。あづきミュージアムは、たくさんのお資料が展示され、まさに小豆の博物館でした。

## 12月18日(木)

一翼を担いました。実物の10分の1、26・3mの「大和」、人間魚雷「回天」、零式艦上戦闘機など展示されていました。戦後70年を迎える今、あらためて平和の大切さを認識しました。



広島県呉市 大和ミュージアムにてガイドより説明を受ける一行

## 12月19日(金)

いという説明でした  
が、コスト面や人や環境に負荷をかけず  
に運営するには更なる研究が必要という  
ことでした。

すべての研修を終

え、夕刻の飛行機で羽田空港をたち、全員無事に泡田町に帰つてきました。

千葉県柏市の千葉大学環境健康都市園芸フィールド科学教育研究センターを見学しました。ここは平成23年に国の予算13億円をかけて植物工場を立ち上げ、約

現在、農産物の

**研修を  
終えて**



千葉県柏市千葉大学環境健康都市園芸フィールド科学教育研究センター トマト栽培風景

60社の民間企業などが参画し目的別にコンソーシアム(2つ以上の個人、企業、団体、政府から成る団体で、共同で何らかの目的に沿った活動を行い、共通の目標に向かって情報を共有する目的で結成される)を組織し、高度に制御された環境で、トマトは5種類、レタスは2種類の栽培方式を研究しています。今後、農家人口の減少等を考えると植物工場の果たす役割が大き

「安全・安心」が、あたりまえの時代であり、ブランド化を推進するには、「味覚」「おいしさ」をアピールしていくかなければならぬこと。株御座候さんの様に長くお取引を頂けるには、農産物の品質はもとより、心の通ったお付き合いが大切だと再認識しました。この研修で得たことを今後の農協運営に対して参考にしていきたいと思います。

# 「ユーニョーランド・オーストラリア視察研修報告

生産資材課 課長 遠藤泰志

平成26年11月26日～12月6日の11日間にわたり十勝農協連主催のニュージーランド・オーストラリア海外農業研修視察に久保恵昭監事と参加させていただきましたので、「ご報告いたしました。十勝管内から10名の農協役員と4名の農協職員、十勝農協連事務局1名、十勝毎日新聞社記者1名の総勢16名が参加しました。

ており、ニュージーランド国内で消費されるオーガニック牛乳の95%のシェアを有する。オーガニック牛乳は一般の牛乳に比べて20%ほど高値で流通されているが、国内において非常に人気が高い。

## ②ディスレイアンドステイ



マルフォナファームにて集合写真

## ①マルフォナファーム

オーガニック酪農（無農薬・無化学肥料・無抗生物質）と飲用乳製造を営む農業法人。放牧地2000haで3000頭の牛を飼育しており、毎日2回2000頭以上の搾乳が行われている。従業員は20名。グリーンバーブランドで販売し

## ブファーム

ワイカト地域では平均的な酪農家。100haの放牧地で乳牛270頭を飼育し、2名で経営している。休暇を取る場合はどちらか1名となるが、日常の作業も基本的に1名で行っている。

これくらいの規模であれば1名で十分賄えるとのことで、農業は若い世代からあまり人気がないが、現在のライフスタイルは非常に気に入っています。全ての人々にお薦めするところでした。

## ③ニュージーランド農民連盟ハミルトン支部

ワイカト地域の農業者2000戸が加盟する農民組織で、115年前に設立。国や地方自治体に対し政務要請を行つ。ニュージーランドは国内市場が

## 小さいため、国内生産量に對する輸出の割合が高く、

約9割を輸出している」とから世界情勢に大きく影響を受けることである。TPP交渉については乳製品の関税撤廃が達成されなければ妥結はあり得ないとのことでした。

## オーストラリア

### ④ジーロング穀物貯蔵・出荷港湾施設

メルボルンにある倉庫業者で162基のサイロを有し18万tの貯蔵能力がある。1930年に設立。民間で経営しており、農家からの生産物を一手に引き受けている。現在の主な貯蔵品は大麦・菜種小麦・ウッドチップなどであり大麦・小麦について日本へも輸出も行つている。

## ⑤ヴィクトリア州農畜産業従事者連盟

ヴィクトリア州の600戸の農家が加入する農民組織。意見を取りまとめ政府に要請を行う機関。GDP（国内総生産）に対する農業生産高は約2・2%となり、小麦・大豆・きび・大麦・牛乳・牛肉が主な品目。オーストラリアは今まで食糧不足になつたことが一度もなく、農業に対する関心が少ないようである。食肉生産量が減少傾向にある中で、中国・アメリカのシェアが大きくなる現状を考えると、日豪EPAにおいては、さほど影響はないのではないかとの見解でした。また、遺伝子組み換え作物については言葉を濁していたが、ある程度は認め



クックファームにて

## ⑥クックファーム

シエバートン郊外で10年前から続く農家の3代目。1100haの畑で小麦・菜種・インゲン豆などを栽培する。不耕起型播種機「Cross Slot drill Machine」という機械を使ってGPSを活用した精密農業を実践している。1990年代に登場した精密農業は複雑で多様なばかりつきのある圃場に対して事実の記録に基づくきめ細かなばかりつき管理をして地力維持や収量・

品質の向上及び環境負荷軽減などを総合的に達成しようという管理方法である。

オーナーのクック氏はこの播種機のオーストラリア代理店の営業も兼ねており、いざれ日本にも売り込みに行きたないと語っていました。

## ⑦ダジョレイファーム

シエバートン郊外でマレーグレー種というオーストラリア原産の肉牛450頭を飼育する農家。マレーグレー種はショートホーン種とアングルス種の交雑種で繁殖率が高く、成長が早いのが特徴である。放牧後、ファードロッドと呼ばれる肥育場に移され飼育される。1998年からの創業。御主人は鉄工所を営業していて、農場は奥さんと息子さんの2名で運営している。ヴィクトリア州最大の農業祭である「ロイヤルメルボルンショー」で最高賞である「最高の雌牛」を受賞した経験がある。種付けの他、受精卵の販売も行っている。

## 海外研修に参加して

二コージーランドは酪農製品の輸出大国で、我々が訪問したワカト地域は、その中核地帯ですが、生乳生産量は伸び悩んでいるとのことでした。二コージーランドで生産される乳製品の95%は輸出用ですが、国際市場の動向を反映し、ファンテラの農家からの買い取り価格が30%も安くなったことで、農家は所得を確保するため乳量を上げなければならず、輸入飼料を使うようになり、それが更に経営を圧迫するという悪環境に陥っているようでした。また、後継者不足も深刻な問題で、特にオーカランドのような大都市に人口が集中する傾向にあり、農地の宅地化が進行する一方で農村部の人口減少による生産量の低下も顕著になりつつあるようでした。こういった状況は十勝の酪農地帯と似ていると感じました。

これらのことから、現在の予測で国内の肉牛生産量は10年後には10%程度減少すると見込まれているようです。二コージーランド共々、酪農・畜産物の生産量が減少する傾向にあるにも係わらず、中国やアメリカからの需要が増えており、今後、数年先には売る物がないのではないかとのことでした。特に中国の影響は街中でも強く感じるものがありましたが。

最後になりますが、海外研修に参加させていただき、二コージーランド・オーストラリア両国の農業情勢に触ることができ、大変貴重な経験となりました。今回の視察団団長を務められた組合長を始め役員各位に併せてこの視察研修に参加する機会を与えてくださった組合長を始め役員各位に心より感謝と御礼を申し上げます。



ダジョレイファームのマレーグレー種



和牛生産組合

## 和牛生産組合 研修会を開催

12月22日、標記研修会がJA会議室にて開催されました。

畜産試験場肉牛グループの斎藤早春様、遠藤哲代様を講師に迎え、「和牛育成・肥育牛へのサイレージ給与」について学びました。畜産試験場では、粗飼料としてTDN（エネルギー含量）の高いとうもろこしサイレージや、青刈りした牧草を発酵させた牧草サイレージを最大限に活用した黒毛和種育成・肥育技術の検討を行っており、研修会ではこれらの新技術についてご紹介していただきました。

いずれの試験成績も採食性・増体ともに問題無く、枝肉成績についても良好であり、自給飼料率の向上、かつ飼料コスト削減が可能であるとのことでした。

和牛経営におけるサイレージ給与は繁殖牛への給与がほとんどでありましたが、飼料価格が高騰する中、今後はこうした生産コスト削減に向けた取組みが重要となります。

(記事・畜産部畜産課 米川 武)

青年部

## ホクレンとの 懇談会に参加して

12月16日大雪の中、ホクレンとの懇談会に参加しました。当日は十勝地区の各青年部の役員が集まり、ホクレン帯広支所の職員の方々との懇談会を行いました。

まず、十勝地区青年部協議会会长の伊藤さんの挨拶があり、続いてホクレン帯広支所から出席者の紹介がありました。その後、畑作・青果分科会と畜産分科会との2つに分かれて意見交換を行いました。私は畑作・青果分科会に参加しました。その中でホクレンの成り立ちと、今の農産物の販売状況等の説明がありました。その後、拡大部長会議が同会場で行われました。拡大部長会議では、各単組とも次期部長等が出席し部長会議の様子を体験していました。(当青年部からは副部長2名が出席しました)

拡大部長会議終了後、ホクレン職員の方々も交え懇親会が開かれました。懇親会では意見交換の時に聞けなかったことなど貴重な意見を聞くことができ、大変有意義な懇親会となりました。

青年部の役員として初めてホクレンとの懇談会に参加させて頂きましたが、とても勉強になる有意義な一日となりました。この経験を今後の青年部活動に生かしていきたいと思います。

懇談会の様子



(記事・青年部会計 横口圭洋)



馬鈴薯の食べ比べ

## 農産課

## 第2回 青果物説明会開催 ～消費者ニーズに応える青果物 生産で収益性向上を目指す～

取引先・消費地から産地形成を強く要望されている青果品目・品種の作付拡大、組合員所得の向上を目的として、第2回青果物説明会を1月26日に開催いたしました。本説明会は平成24年度から継続して取り組んでおりますが、平成26年度からは座学での説明会のほかに、現地での研修会も開催しております。

今回の説明会（座学）には、組合員11名の参加を頂き、ゆり根・玉葱・南瓜・よもぎの生産状況や情勢・特徴的な作業・部会の取組を紹介し、各部会代表者の方から栽培に関する情報、アドバイスを付け加えて説明頂きました。青果物の作付によって必要となる労働力確保について、人材派遣の関係を営農部より、融資関連を金融部より情報提供しました。

そのほか、馬鈴薯・ネバリスターの食べ比べも行い、品種や糖度による味の差を確認しました。参加者からは、「この品種の方が美味しい！」「自分が作っていない品種を食べることはなかなか無い」といった声も聞かれ、改めて生産者自身が食べ比べする機会を設けていく必要があると実感しました。

今後も研修会、推進活動による情報発信を継続して参ります。青果物作付に興味のある方は、是非農産部農産課までご相談ください。

（記事・農産部農産課 上野 駿）

## 施設課

## 季節作業員慰労会 開催

農産センターで普段青果物の選別や、豆の手選をして頂いている、パート職の皆さんのが1年の業務を労う為、今年も慰労会も兼ねた新年会を第一ホテル豆陽亭で開催致しました。

今年は33名の方々に参加頂き、大塚常務の挨拶で開催し、美味しい料理・温泉で疲れを癒して頂けたかと思います。又、毎年恒例のbingo大会は景品の中に入っている温泉宿泊ペアチケットをかけて大変盛り上がりを見せました。

宴会や部屋で色々なお話をし、皆さんと交流を深めることができた1日となりました。

今後もパート職の皆さんあっての農産センターですので、安全・安心で働く職場づくりに、職員・パート職みんなで努めてまいりたいと思います。（記事・農産部施設課 五十公野竜介）



bingo大会の様子

神森さんの日本舞踊で盛り上がった懇親会

女性部

## 冬期交流会を開催

女性部では1月15日（木）～16日（金）に、十勝川温泉観月苑において、部員22名の参加で冬期交流会を開催しました。

懇親会では、千代田地区の神森悦子さんによる日本舞踊を披露して頂き、

ビンゴ大会・カラオケなどでも大いに盛り上りました。

久しぶりに会った部員同士で、会話も弾み大変楽しい一時となりました。

参加された、部員の皆さんお疲れ様でした。

（記事・営農部営農課 遠藤由梨）

尊徳は財政が苦しい武家の再建を依頼されたとき、それぞれの分限を守り、収支のバランスがとれた相応の生活を勧めました。また、数値で支出を定めることを「分度」といっています。

与えられた分量の範囲内で計画し、さらにその中で一定の割合で蓄積（貯金など）していく、この取り決めごとが「分度」なのです。秩序ある経営、節度ある生活、合理的な財政がなければ高い文化は生まれません。「分度」は他の教えにない特色ある報徳独特の教

**すぐれた  
「分度」の教え**

えです。

分度の分というのは天分であり、一切の事象にもそれぞれ天分（天が分け与えた生まれつきの才能）があります。その分（分量・力量・すぐれているさま）です。度とは、それを見定める、測るの意です。

尊徳はその分度について「分に従つて度をたつるの意義なり。故に分は自然にして天命に属し、度は作為にして人道に属す。この自然の天分によつて歳入を量制する。これを分度を立つるという」と要約しています。

例えば、月20万円の家計で計算し、さらにその中で一定の割合で蓄積（貯金など）していく、この取り決めごとが「分度」なのです。秩序ある経営、節度ある生活、合理的な財政がなければ高い文化は生まれません。「分度」は他の教えにない特色ある報徳独特の教

者は、それが天分である。（北海道報徳社 報徳生活読本より）

**協同組合と報徳**

No.5

そのうち15万円を天分として家計を賄い、5万円は分外として譲り渡す。この分外もまた分けて、自分・孫の将来に3万円を貯蓄とし（自譲）、残りの2万円は税、負担金などに充てる（他譲）。極めて当たり前のことです。この割合は、天分、その時の事情により変化するのは当然です。

尊徳はまた、この実行に当たり、「一歩より始めよ、小より始めよ」と説き、「しづくも集まれば水車を動かす」また「始めに終わらせるべきよ」と間違いのない分度実行を教きました。

## 平成27年1月から新たな農協部会長会

平成27年1月から、農協部会長会が新たな部会長によりスタートしました。

新部会長の構成は、以下の19名の方々により、平成29年12月までの任期期間、農協事業活動にご協力頂きますようお願い致します。

尚、部会長会役員につきましては、会長：武智唯浩さん（川合1）、副会長：穂田裕幸さん（様舞）、会計：市川法康さん（昭栄南）となりましたので、併せてご報告致します。

### 農協部会長会及び役員の皆様

(敬称略)

地区名	役員	氏名	地区名	役員	氏名
利別		伊賀茂	昭栄南	会計	市川法康
川合1	会長	武智唯浩	昭栄		平譯悟
千代田東		北西啓造	昭栄北		中島洋幸
千代田南		石田勉	東台1		佐藤幸男
千代田北		太田孝臣	東台三愛		竹田幸司
豊田1		水上武重	東台幹線		清水茂
豊田2		神谷雅之	富岡		川本俊一
青山・十日川		宮前裕治	川合2		小松田隆明
清見1		山根隆	様舞	副会長	穂田裕幸
清見2		安富功			

### 金融共済課より

## 自動車共済 運転者の年齢条件は だいじょうぶですか？

これから春に向かって、高校卒業、進学、新社会人などなど若い人が、自動車を運転する機会が増えるシーズンとなります。ご契約の自動車共済の運転者年齢条件は合っていますか？

運転者年齢条件を正しく設定しないと万が一の時、共済金をお受け取りする事ができません。

詳しくは、本所または池田支所の共済窓口にお問い合わせください。



年齢条件の種類には  
以下の4種類があります！

全年齢保障

21歳以上保障

26歳以上保障

35歳以上保障（家庭用のみ  
設定可能）

本所・金融共済課 ☎ 572-3131

池田支所 ☎ 572-3132

# JAネットワーク十勝の動き



## JAネットワーク十勝が目指すブランド戦略の推進状況(その2)

- JAネットワーク十勝は、十勝管内JAの農畜産物・加工品を統一的にPRし、売れる商品づくりを進めることで、消費者の認知度と評価を高めるための「ブランド戦略」を策定し、「選ばれる産地づくり」を進めています。
- 「十勝」を個性豊かな24の州（JA）で構成された架空の「十勝ごちそう共和国」として捉え、各JAが特長を発揮しながら十勝全体を盛り上げていく独自のキャンペーンを開催します。そのスタートとして、11月26日に建国宣言（記者会見）と「十勝の食を味わう会」を実施しました。

### ●推進状況

- (1) ブランドロゴマークとブランドブック・ポスターなどのPR用資材の作成
- (2) 魅力ある十勝ブランド創造のためのブランドセミナーの開催
- (3) 「十勝ごちそう共和国」建国宣言イベントの実施
- (4) Webサイトの開設（URLは、<http://www.made-in-tokachi.jp/>）  
「Made in 十勝」で検索すると見つかります。
- (5) 消費者調査の実施  
PR対策のために、十勝のイメージ、十勝産品の認知度と購入意向を調査しました。
- (6) 次年度アクションプランの検討

### ●ブランドロゴマーク

「Made in 十勝」は、「十勝産」をグローバルな目線で表現したもので、「十勝」の十の字は、「十勝ごちそう共和国」の国旗をイメージしています。

グリーンは先人たちが磨き上げた大地、ブルーは十勝川などの大河と美しく澄んだ空、クロスには安全・安心の意味が込められています。

このロゴマークが付けられるのは、ブランド戦略の3つの基本方針を実践している十勝管内JAの農畜産物と、それを主原料とした加工品だけで、ブランドコンセプトの「美味しさ」と「安心感」の証です。

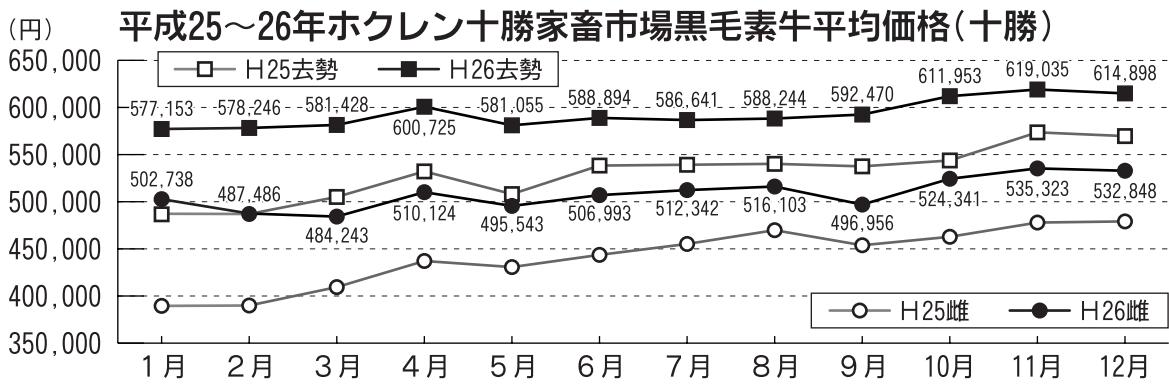
Made in ■ 勝



Made in + 勝

# 畜産部通信

畜産部  
畜産課



## 12月黒毛素牛出荷区分別成績

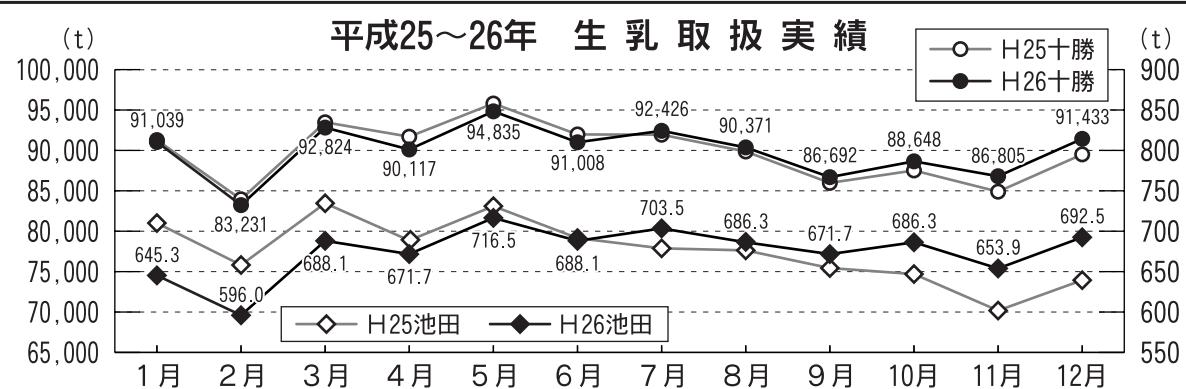
		取引頭数	平均価格(税込)	参加率・認定率
去勢	和牛素牛	702	614,898	
	マニュアル参加牛	467	621,626	66.5
	マニュアル認定牛	93	674,651	19.9
池田	和牛素牛	44	614,447	
	マニュアル参加牛	35	623,345	79.5
	マニュアル認定牛	10	653,616	28.6
雌	和牛素牛	539	532,848	
	マニュアル参加牛	364	536,502	67.5
	マニュアル認定牛	33	598,386	9.1
池田	和牛素牛	56	553,596	
	マニュアル参加牛	48	552,420	85.7
	マニュアル認定牛	9	620,760	18.8

## 12月ホクレン十勝枝肉市場

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
6日	黒毛去勢	A-5	2,182
		A-4	1,979
		A-3	1,742
13日	黒毛メス	A-5	2,135
		A-4	1,965
		A-3	1,717
F1去勢	B-3	—	
	B-2	1,113	
	B-3	—	
F1メス	B-2	984	
	B-2	984	



## 平成25～26年 生乳取扱実績



## 12月ホクレン十勝乳牛市場

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
1日	乳牛育成	576	308,863
17日	乳牛初妊	802	565,968
18日	乳牛経産	151	321,768

## 12月十勝中央家畜市場

区分	平均価格(税込)
乳牛オス初生	44,708
F1オス初生	149,152
F1メス初生	92,276
廃用牛	167,897



昭栄地区  
原 口 直 之 さん  
(36歳)

Vol.8

# 未来人

Mirai Bito

## プロフィール

家族は直之さん、妻・有香さん、長女・絢光ちゃん、長男・裕都くん、父・政一さん、母・直子さんの6人家族で畑作を営む。

池田高校から酪農学園大学に進学、卒業したのち就農。今年で就農15年目。

平成23年度に当JA青年部の部長を務め、平成24・25年度には十勝地区農協青年部協議会・副会長も務めた。

**農**家の良いところは分かっていたし、農家への抵抗も無かった。と話してくれたのは、平成23年度に青年部・部長を務めた原口直之さん。

酪農学園大学を卒業後、父・政一さんの「帰つて来い」との一言もあり、池田町に戻り1年間農作業を行つて就農を決意した。1年間のなかで「農家をするつていう自覚ができたし、農家は一般的な会社と違う。雇われるのではなく自分で考えて出来るところが、自分に向いていた」と話す。

**就**農当時の事を聞くと、「父が教えようとしている事を理解するのが大変だった。例えば、『十』覚えなければならない事も『一』ぐらいしか理解できなかつたし、『言われる前にも動け!』と言われる事もあった」と言い、「自分で稼ぐのは大変だと改めて感じたのと、父からそう言わ

**当**J Aの青年部長の他に、十勝地区青年部協議会の役員も務めた直之さん。十勝の役員になつた事で、他の青年部活動も知る事が出来たと云う。部長を務めていた時は、「まず部員に参加して貰い、その中で少しでも学べて貰えればと思って活動していく」と云う。十勝の役員になつてからは、「青年部の活動や他の取組み(ファームステイ)にしろ、池田は2・3年先じゃなく、もつと先を見据えた活動が必要だと感じ、そういう活動を行う為には、みんなで変わつていかなければいけないと

今は「子どもの時間が一番楽しい」とお父さんの面も見せぬ直之さん。経営の方では今年、政一さんから直之さんへ経営移譲する事が大切と話す。

今は「子どもの時間がいいかを知る事が必要」と、失敗を恐れずチャレンジする事が大切と話す。

**青**年部の後輩達には、「外に出て沢山の事を学んで、今何を求められてきたから」「JAに今は、自分で考えて農作業を行えるようになった」と笑う。

「私はJAの青年部長の他に、十勝地区青年部協議会の役員も務めた直之さん。十勝の役員になつた事で、他の青年部活動も知る事が出来たと云う。部長を務めていた時は、「まず部員に参加して貰い、その中で少しでも学べて貰えればと思って活動していく」と云う。十勝の役員になつてからは、「青年部の活動や他の取組み(ファームステイ)にしろ、池田は2・3年先じゃなく、もつと先を見据えた活動が必要だと感じ、そういう活動を行う為には、みんなで変わつていかなければいけないと



# 農家の お嫁さん

8

子供と一緒に、  
妖怪ウォッチにハマっています！



千代田南地区  
なか にし あや こ さん  
**中 西 綾 子 さん**  
(35歳)

家  
族  
構  
成

夫	洋一	さん	(35歳)
長男	巧	くん	(5歳)
次男	陸	くん	(1歳)
義父	悦夫	さん	(61歳)
義母	邦江	さん	(59歳)
義祖父	五郎	さん	(88歳)
義祖母	道子	さん	(85歳)

Q 出身地は？

A 池田町です。

Q 池田町に来てどう思いましたか？

A 結婚を機に8年ぶりに帰ってきた池田町は、神社のお神輿が復活していたり、いけだD Eナイトのようなイベントが企画されていたり、まきばの家の羊が嬉しい増えてたり（笑）。人口は減っているけれど、この町で何かやろうという人は沢山いるのだと頗もしく感じました。

Q 趣味・特技・マイブームは？

A 子供と一緒に「妖怪ウォッチ」がマイブーム！

Q 旦那さんとの出逢いは？

A 初めての出会いは保育所ですが（笑）池中で3年間同じクラスで、そこからの縁です。

Q 結婚する前は何をしていましたか？

A チラシやパンフレット、ホームページ等のグラフィックデザインをしていました。

Q 農家の嫁さんになる事に不安はありませんか？

A 運動音痴で仕事もずっとデスクワークだったので、体力的な不安がとても大きかったです。

Q 農家に嫁いで良かった事は？

A 完熟するまで木についていたトマトやバブリカが甘すぎる～♡そんな野菜を食べられる事です。

Q フレッシュユミズに入って活動してみて、どんな所が良いですか？

A 農家ネタに限らず、子育てや色々な事を笑って話せる、そんなフレミズの雰囲気が好きです。

Q これから抱負を一言！

A アベノミクスじゃないけれど、仕事と家庭を両立できる、カッコイイ母ちゃん目指して頑張ります！

## 理事会の動き

### 第 11 回

〈平成27年1月28日〉

#### ★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の加入・脱退について
- (2) 組合財務の現況について
- (3) 12月末基準決算見込みについて
- (4) 平成26年末組勘整理実績について
- (5) 特定組合員の年末整理状況及び負債残高について
- (6) 共計品の精算について
- (7) 平成27年産農産物の作付予定面積の集計結果について
- (8) 平成26年度目標管理制度の各部目標及び中間面接結果について
- (9) 豆類調整加工料の変更について
- (10) 平成27年度新規採用内定者について
- (11) 決算処理要領並びに残高確認実施要領の制定について
- (12) 経営定期点検実施要領の一部改訂について

#### ★ 議 案 ★

- (1) 組合員資格変動並びに出資金持分減口承認願いについて
- (2) 池田町乳用牛及び和牛増頭支援事業の実施と転貸について
- (3) 自治監査結果の報告について
- (4) 事業評価結果報告並びに次年度行動計画について
- (5) 平成27年度各種事業に対する利用料金率の設定について
- (6) 地区懇談会の開催について
- (7) 不良債権の処理方針（案）について

#### ★ 協 議 案 ★

- (1) 平成27年度固定資産取得計画（案）について

## 今月の1枚



### 池田町産の小麦粉を使って うどん作り

今月の1枚は、1月20日（火）に行われた、廿ヶ部・食品加工サークルの例会での1枚です。

今回は池田町産の小麦粉を使つた、「うどん」と「豚丼のたれ」を作り、お昼には、お好み焼きを作りました。

美味しいご飯と楽しいお喋りで、有意義な時間となりました♪

2月の節分では、大豆を年齢の数だけ食べるという風習があります。大豆は鎌倉時代に仏教が広く普及した影響で肉食が禁止されたため、体に必要なタンパク源を得るために栽培が広がりました。大豆は皆さんも知った通り、「畑の肉」と言われるほど植物としてはタンパク質が豊富です。

小さな粒ですが「大豆」と書くのは、「大いなる豆」の意味から名付けられたものだそうです。体に良い物を自分の手で作れる農家は改めて凄いなと思いました。（E）

編

集

後

記